



名称類似薬剤の処方間違いに注意しましょう

昨今、名称や一般名が類似している薬剤が増え、全国的に薬剤の処方間違いや取り違え事例が発生しています。**処方時や投薬時には薬剤の名称に注意してください。**

薬剤名	適応症	薬剤名	適応症
名称類似薬品の例			
ザイティガ錠250mg	前立腺癌	ザルティア錠5mg	排尿障害
マイスリー錠5mg	不眠症	マイスタン錠5mg	てんかん発作
デュファストン錠5mg	月経困難症等	ディナゲスト錠1mg	子宮内膜症
一般名類似薬品の例			
タダラフィル錠20mgAD	肺高血圧症 (アドシルカ錠の後発品)	タダラフィル錠5mgZA	排尿障害 (ザルティア錠の後発品)
デュタステリドカプセル 0.5mgAV	前立腺肥大症 (アボルブカプセルの後発品)	デュタステリドカプセル 0.1mgZA	男性の脱毛症 (ザガーロカプセルの後発品)

<事例1>

「マイスリー」を処方する際、処方画面で「まいす」と入力すると複数の薬剤が候補に挙がったため、「マイスリー」ではなく「マイスタン」を選択し、規格のみを確認して処方してしまった。

➡ 当院では「マイスタン錠」を処方する場合「抗てんかん薬です」とメッセージが表示されます。

<事例2>

泌尿器科から発行された処方箋を調剤薬局が応需した。処方内容は、ザイティガ錠 250mg 1錠 分 1×14 日分朝食後服用であった。通常の1/4の投与量となっているため、処方医に疑義照会を行ったところザルティア錠の処方間違いであった

➡ 当院では「ザイティガ錠」を処方する場合「あびらてろん（成分名）」と検索しなければ表示させないようにしています。

<事例3>

持参薬で当院採用薬ではない「タダラフィル錠5mgZA」を内服していた患者、持参薬が無くなり院内採用の「タダラフィル錠20mgAD」を誤って処方してしまった。

➡ 当院の院内採用ではできる限り名称類似薬は同時採用しないよう努めてますが、持参薬継続時は名称類似薬を使用している事があるので注意して下さい。